yamada

HIDブラケット
（壁付専用型）
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品 番	適合ランプ
BH-2057	FC2 HQI-TS250W×1（別売）

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取扱い上の注意

⚠ 警 告

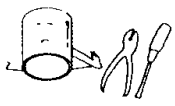
一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
- 壁面以外の場所
- 補強材の無い場所への取付け （ボックスに取り付ける場合を除く）
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバーに取り付けてください。）
★いずれの場合も器具の落下による事故、その他の破損やケガの原因となります。
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注 意

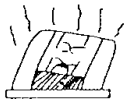
この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

電源電圧は安定器の指定された電圧の許容範囲内で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

使用地域の電源周波数（50ヘルツまたは60ヘルツ）にあった安定器を使用してください。
★間違って使用すると、火災の原因となることがあります。

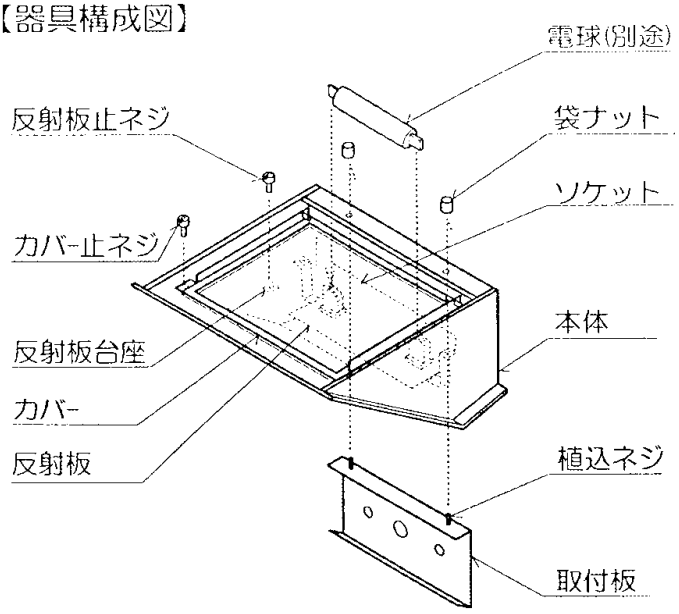
ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。



殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

● 各部の名称 （説明図は、一部を省略抽象化した図です。）（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

取扱説明書（本書） ―――― 1枚

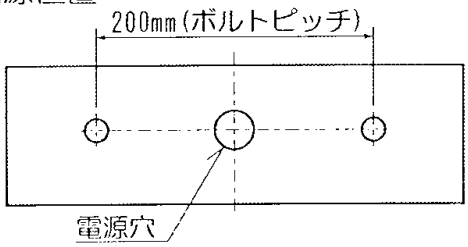
自己融着テープ ―――― 2枚

● 取り付け場所の確認

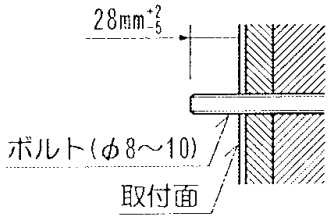
⚠ 警告

器具の取り付けは、器具の重量に耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

● 取付ピッチと電源位置



● 取付ボルト出し寸法



⚠ 警告

この器具は、被照射面までの距離が決まっております。ランプ上面から被照射までの距離が1m以上となる位置に取り付けてください。
★距離1m以下の場所に接地すると、過熱による火災の原因となります。

● 取り付け方 ⚠注 意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

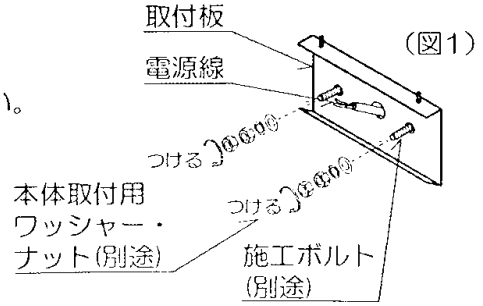
器具の取り付けは、器具の重量に耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

● 器具を取り付ける前に。

・袋ナットをはずし、本体から取付板を取りはずしてください。

1.取付板を取り付けます。

・電源線を電源穴より引き込み、取付板をセット後、ワッシャー・ナット(別途)で確実に止め、締め込みます。(図1)

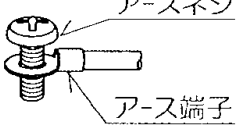


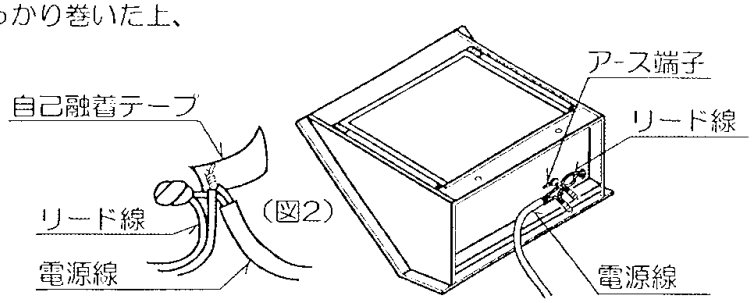
(図1)

2.電源線を取り付けます。

・電源線の被服を剥いてリード線と接続してください。
裸線が見えない様に、自己融着テープでしっかり巻いた上、
絶縁テープを巻いてください。（図2）
★不良の場合、感電・漏電の原因となります。

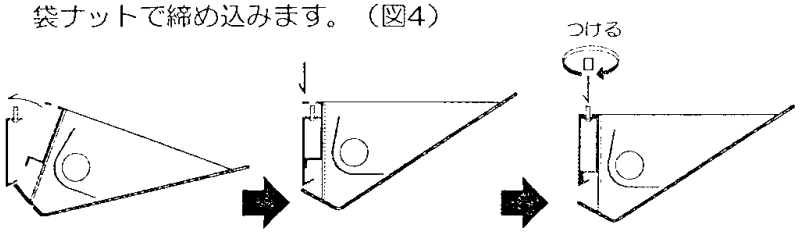
・湿気の多い場所、水気のある場所に
取り付ける場合は、必ず第三種接地
工事を施してください。



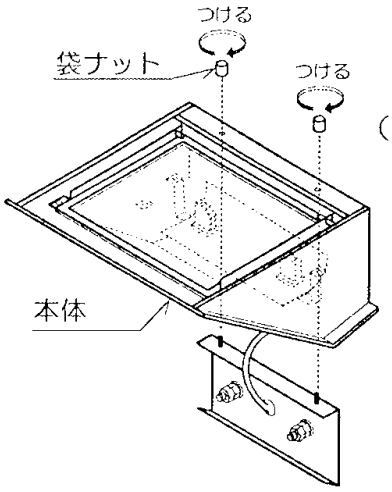


3.本体を取り付けます。

・本体を（図3）の様に取付板に取り付けてから
袋ナットで締め込みます。（図4）



（図3）



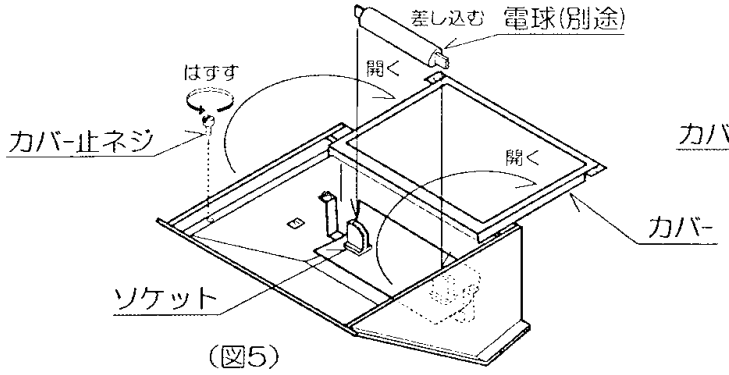
（図4）

4.ランプをセットします。

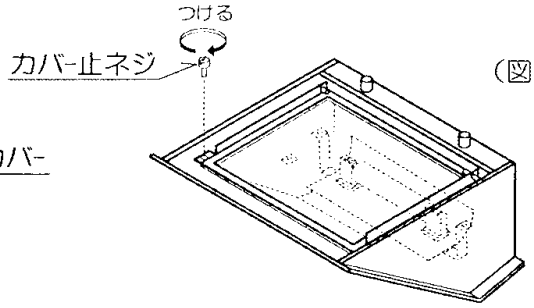
・カバー止ネジをはずしてカバーを開いて電球をソケットに
合わせて差し込みます。（図5）
・カバーを閉じカバー止ネジを締付けてカバーを固定します。（図6）

⚠ 注意

⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れてケガをする恐れがあります。



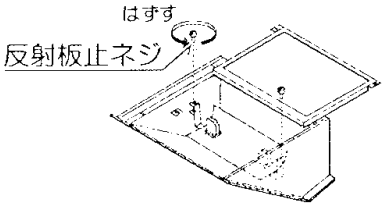
（図5）



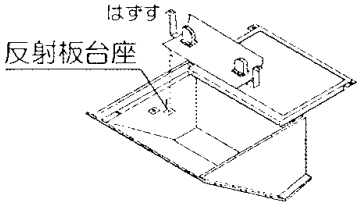
（図6）

◆照射方向の変更

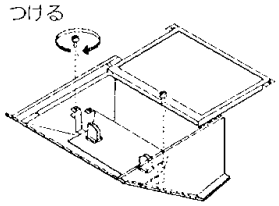
・この器具は、反射板の位置を変更して、照射方向を変えることができます。
★工場出荷時には、光が前方向により多く出る位置に反射板がセットされています。
★光を壁側により多く照射したい場合には、反射板の位置を変更してください。
⚠ ★注意！ 反射板の位置を変更する作業は、電源を切ってから行ってください。



1. 反射板を止めているネジを
はずします。



2. 反射板を台座よりはずします。



3. 反射板を手前の台座にセットし、
止めネジで固定します。

スイッチ操作

● 壁スイッチにて　ON-OFF　操作を行います。

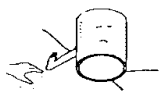
● お手入れについて　⚠注 意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注 意

❗● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球は熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。
★火傷の原因となります。



● 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れて怪我をする恐れがあります。

● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。

● シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆ ランプの交換

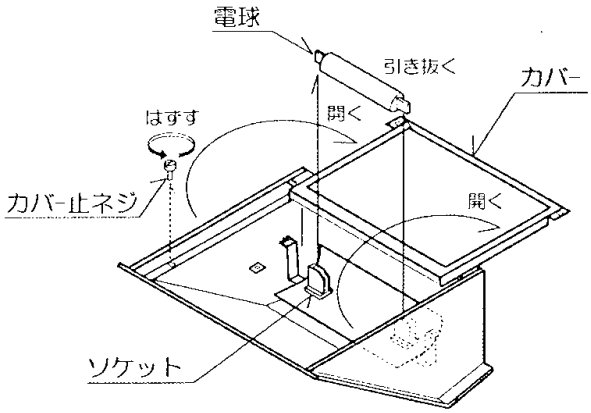
1.スイッチを切ります。

2.ガラスカバーをはずします。
・カバー止ネジをはずしてカバーを開きます。

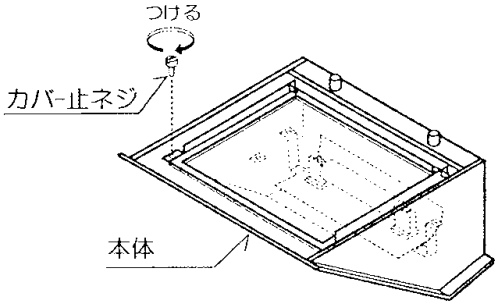
3.ランプをはずします。
・ランプをソケットから引き抜きます。

⚠ 注意 ❗ ランプは直接素手で扱わず、きれいな手袋などを使用してください。
★汚れたまま点灯すると、ランプが割れてけがをする恐れがあります。

電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れてケガをする恐れがあります。

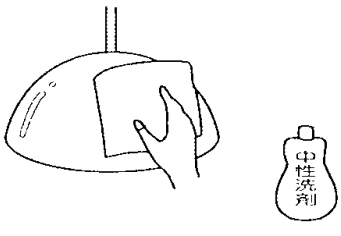


4.新しいランプをセットします。
・『●取り付け方』の「4」の項のように、交換してカバーを閉じカバー止ネジを締付けてカバーを固定します。



◆ お手入れのしかたについて

1.スイッチを切ります。
2.柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4.最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■ アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付にご相談ください。